

事務連絡
平成24年7月10日

社団法人 全日本病院協会 御中

厚生労働省医政局指導課

大飯原発3号機の再稼働に伴う節電目標の改定について

今夏、節電に御理解と御協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

平成24年7月9日未明、大飯原子力発電所3号機が定格熱出力一定運転に達したことを踏まえ、「今夏の節電目標の改定方針について（平成24年6月22日 電力需給に関する検討会合、エネルギー・環境会議合同会合決定）」に基づき、本日より、中部電力、北陸電力、関西電力及び中国電力の節電目標が改定されます。

貴会におかれましては、当該改定後の節電目標について、中部電力、北陸電力、関西電力及び中国電力管内の貴会会員に周知していただくとともに、今夏、需給のひっ迫による停電を回避するため、引き続き節電にご協力を呼びかけていただきますよう、お願い申し上げます。

問い合わせ先

厚生労働省医政局指導課 上村

(電話) 03-5253-1111 (内線) 4133



事務連絡

平成24年7月9日

各府省庁担当部局 御中

内閣官房
経済産業省

大飯原発3号機の再稼働に伴う節電目標の改定について

今夏、節電のため、御迷惑をお掛けしていることをお詫び申します。

7月9日未明、大飯原子力発電所3号機が定格熱出力一定運転に達したことを踏まえ、「今夏の節電目標の改定方針について（平成24年6月22日 電力需給に関する検討会合 エネルギー・環境会議 合同会合決定。以下「改定方針」という。）」に基づき、7月10日より、中部電力、北陸電力、関西電力及び中国電力の節電目標が改定されます。

つきましては、お手数をお掛けしますが当該改定について、貴省庁等管下の政府関係機関及び関係団体等に周知方お願い申し上げます。

なお、これに合わせて「今夏の政府の節電行動計画（同上）」における節電目標についても、中部電力、北陸電力、関西電力及び中国電力管内においては、次のとおり、改定方針における改定後の目標を新たな節電目標として取り扱うこととしますので、各府省庁での取組を、引き続き、よろしくお願いいたします。

改定後の節電目標（変更のあった管内のみ記載）

中部、北陸電力管内	▲4%以上
関西電力管内	▲10%以上
中国電力管内	▲3%以上

（連絡先）

<節電目標改定について>
経済産業省 資源エネルギー庁
電力・ガス事業部 電力基盤整備課
TEL 03-3501-1749
E-mail setsuden-t@meti.go.jp

<政府の節電行動計画について>
内閣官房 副長官補室 吉田、田中、吉川
TEL 03-3581-9280
E-mail hiroki.yoshida@cas.go.jp

今夏の節電目標の改定方針について

平成24年6月22日
電力需給に関する検討会合
エネルギー・環境会議

1. 節電目標の改定にあたっての基本的考え方

- (1) 平成24年6月16日に開催された四大臣会合において、政府は、大飯原子力発電所3号機、4号機の再起動を決定した。
- (2) 大飯原子力発電所3号機が再起動された後、4号機が再起動される予定であり、3号機、4号機の再起動には、それぞれ約3週間を要する見込みである。
- (3) その際、再起動の作業が遅延する可能性があるため、大飯原子力発電所3号機の再起動が確実となる段階（再起動して発電が開始され、定格熱出力一定運転となる段階。）までは、「今夏の電力需給対策について（平成24年5月18日電力需給に関する検討会合／エネルギー・環境会議）」で決定された節電目標を堅持することが必要である。
- (4) 大飯原子力発電所3号機の再起動が確実となった段階（再起動して発電が開始され、定格熱出力一定運転となった段階。）において、次の方針に従い、節電目標を改定する。

なお、大飯原子力発電所4号機の再起動に伴う節電目標の改定については、大飯原子力発電所3号機の再起動が確実となった段階を目途にその方針を固め、大飯原子力4号機の再起動が確実となった段階で改定する。

2. 大飯原子力発電所3号機の再起動に伴う節電目標の改定方針

大飯原子力発電所3号機の再起動が確実となった段階（再起動して発電が開始され、定格熱出力一定運転となる段階。）において、「今夏の電力需給対策について」で決定された節電目標を以下のとおり改定する。

- ①大飯原子力発電所3号機の再起動により、中西日本（中部、関西、北陸、中国、四国、九州電力）において、電力の供給力が約170万kW増加¹することに合わせ、関西電力管内の節電目標を、一昨年比▲10%以上に低減する。
- ②中部、北陸、中国電力管内においては、広域レベルでの節電目標の共有を一部継

¹ 約170万kWのうち、大飯原子力発電所3号機の出力は、118万kW。残りは、揚水汲み上げ電力の増加等に伴う揚水供給力の増加分。

続することとし、定着した節電分相当²を数値目標として設定する³。

③四国、九州電力管内については、現在の節電目標を維持する⁴。

④数値目標を伴う節電要請期間及び時間は変更しない。

なお、大飯原子力発電所の再起動は、基本的に、中西日本地域の供給増をもたらすものであり、東日本地域の節電目標等は変更しない。

<現在の節電目標と改定後の節電目標>

	中部	関西	北陸	中国	四国	九州
現在の節電目標	▲ 5 % 以上	▲ 1 5 % 以上	▲ 5 % 以上	▲ 5 % 以上	▲ 7 % 以上	▲ 1 0 % 以上
改定後の節電目標	▲ 4 % 以上 <small>(定着した節電分)</small>	▲ 1 0 % 以上	▲ 4 % 以上 <small>(定着した節電分)</small>	▲ 3 % 以上 <small>(定着した節電分)</small>	▲ 7 % 以上	▲ 1 0 % 以上

これら、数値目標を伴う節電を要請することにより、引き続き、中西日本全体において、+3%以上の供給予備率を確保する。

以上

² 「定着した節電」とは、需給検証委員会で示されたとおり、現在行われている無理のない節電（ストレスが小さく、かつ、コストが少ない、もしくは投資回収ができるもの）を指す。例えば、照明や空調の調整等による節電が挙げられる。

³ 中部、北陸、中国電力管内における定着した節電は、それぞれ一昨年比▲3.6%、▲3.7%、▲2.5%であることから、中部、北陸、中国電力管内の節電目標を、それぞれ▲4%以上、▲4%以上、▲3%以上とする。

⁴ 四国電力管内については、▲7%以上の節電目標は、単独で需給ギャップを解消した上で余力があれば需給がひっ迫している他地域への電力融通を行うという前提であった。大飯原子力発電所3号機が再起動した後も、中西日本全体では、電力供給の余力があるとはいえないため、四国電力管内については、▲7%以上の節電目標を維持する。



ご迷惑をおかけしますが、今夏、節電にご協力をお願いします。

今夏、電力不足が懸念されます。政府、電力会社においては、引き続き供給力の確保に最大限の努力をして参りますが、それでもなお電力需要と供給力にはギャップが発生することが懸念されます。大変なご迷惑をおかけしますが、需給ギャップによる停電の発生を回避するため、ライフライン機能の維持等に支障が生じない範囲で、以下のとおり節電のご協力をお願い申し上げます。

関西・九州電力管内

🕒 平日9:00～20:00 (お盆の8/13～15を除く)

- 数値目標なしの節電
- 10%以上[※]の節電

7月	8月	9月
1 2 3 4 5 6 7	1 2 3 4	1
8 9 10 11 12 13 14	5 6 7 8 9 10 11	2 3 4 5 6 7 8
15 16 17 18 19 20 21	12 13 14 15 16 17 18	9 10 11 12 13 14 15
22 23 24 25 26 27 28	19 20 21 22 23 24 25	16 17 18 19 20 21 22
29 30 31	26 27 28 29 30 31	23 24 25 26 27 28 29
		30

四国電力管内

🕒 平日9:00～20:00 (お盆の8/13～15を除く)

- 数値目標なしの節電
- 7%以上の節電

7月	8月	9月
1 2 3 4 5 6 7	1 2 3 4	1
8 9 10 11 12 13 14	5 6 7 8 9 10 11	2 3 4 5 6 7 8
15 16 17 18 19 20 21	12 13 14 15 16 17 18	9 10 11 12 13 14 15
22 23 24 25 26 27 28	19 20 21 22 23 24 25	16 17 18 19 20 21 22
29 30 31	26 27 28 29 30 31	23 24 25 26 27 28 29
		30

中部・北陸電力管内

🕒 平日9:00～20:00 (お盆の8/13～15を除く)

- 数値目標なしの節電
- 4%以上[※]の節電

7月	8月	9月
1 2 3 4 5 6 7	1 2 3 4	1
8 9 10 11 12 13 14	5 6 7 8 9 10 11	2 3 4 5 6 7 8
15 16 17 18 19 20 21	12 13 14 15 16 17 18	9 10 11 12 13 14 15
22 23 24 25 26 27 28	19 20 21 22 23 24 25	16 17 18 19 20 21 22
29 30 31	26 27 28 29 30 31	23 24 25 26 27 28 29
		30

中国電力管内

🕒 平日9:00～20:00 (お盆の8/13～15を除く)

- 数値目標なしの節電
- 3%以上[※]の節電

7月	8月	9月
1 2 3 4 5 6 7	1 2 3 4	1
8 9 10 11 12 13 14	5 6 7 8 9 10 11	2 3 4 5 6 7 8
15 16 17 18 19 20 21	12 13 14 15 16 17 18	9 10 11 12 13 14 15
22 23 24 25 26 27 28	19 20 21 22 23 24 25	16 17 18 19 20 21 22
29 30 31	26 27 28 29 30 31	23 24 25 26 27 28 29
		30

東北・東京電力管内

🕒 平日9:00～20:00 (お盆の8/13～15を除く)

- 数値目標なしの節電

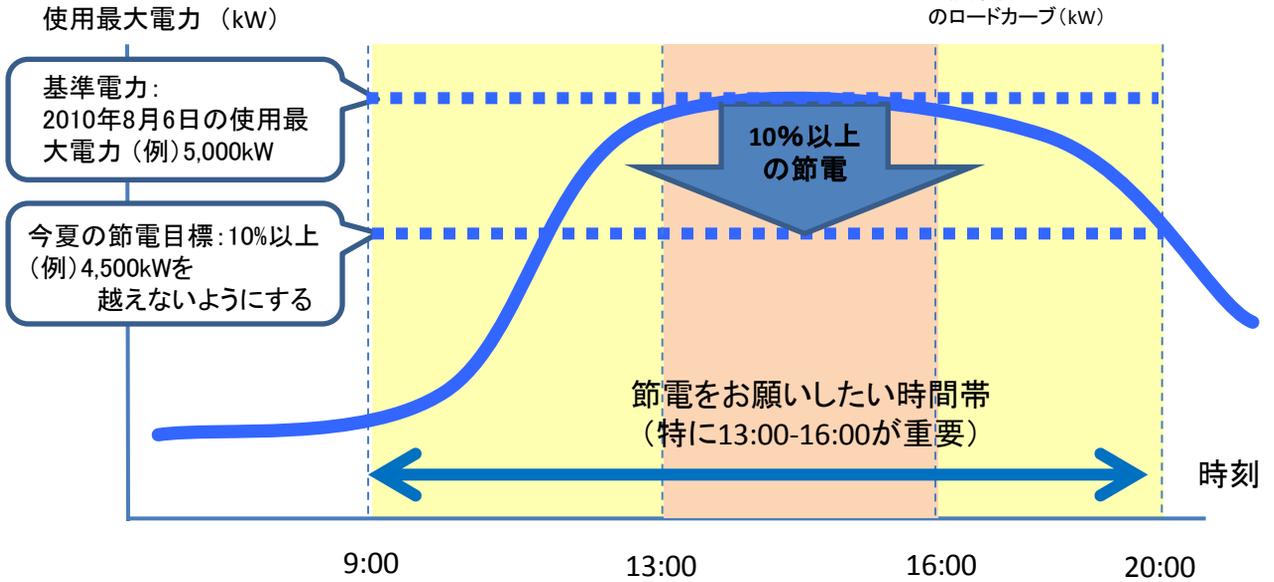
7月	8月	9月
1 2 3 4 5 6 7	1 2 3 4	1
8 9 10 11 12 13 14	5 6 7 8 9 10 11	2 3 4 5 6 7 8
15 16 17 18 19 20 21	12 13 14 15 16 17 18	9 10 11 12 13 14 15
22 23 24 25 26 27 28	19 20 21 22 23 24 25	16 17 18 19 20 21 22
29 30 31	26 27 28 29 30 31	23 24 25 26 27 28 29
		30

※7月2日～9日までの節電目標は、関西電力管内15%以上、中部・北陸・中国電力管内5%以上。



○ 特に、日中(13時~16時)の節電が重要です。

関西電力管内の事業所Aの
一昨年8月6日(使用最大電力
が記録された日)
のロードカーブ(kW)



※上記節電に支障のない範囲で、早朝(7:00-8:00)や夜(20:00-25:00)の時間帯においても、揚水発電の供給力を増やす観点から、国民生活や経済活動に支障を生じない範囲での消費電力抑制をお願いします。

○ オフィスビルでの節電メニュー

5つの基本メニュー		節電効果
照明	執務エリアの照明を半分程度間引きする。	13%
	使用していないエリア(会議室、廊下等)の消灯を徹底する。	3%
空調	執務室の空調を28℃に設定する。(+2℃の場合)	4%
	使用していないエリアの空調を停止する。	2%
OA機器	長時間席を離れるときは、電源を切るかスタンバイモードにする。	3%
さらに効果の大きくなる3つのメニュー		節電効果
空調	室内のCO2濃度の基準範囲内で、換気ファンの一定時間の停止、または間欠運転によって外気取入れ量を調整する。	5%
	ブラインド、遮熱フィルム、ひさし、すだれを活用する。	3%
	冷凍機の冷水出口温度を高め設定し、ターボ冷凍機、ヒートポンプ等の動力を削減する(セントラル式空調の場合)。	2%

○ 詳しくは、ホームページへ。

節電.go.jp

検索

<http://setsuden.go.jp/>

他の業種の節電メニュー

卸・小売店、食品スーパー、医療機関
ホテル・旅館、飲食店、学校、製造業

補助金メニュー



○ 節電メニューをお知らせしております。これらのメニューを目安に、節電へのご協力をお願いいたします。

節電メニュー		節電効果
エアコン	室温を28℃にする（+2℃の場合）	10%
	“すだれ”や“よしず”などで窓からの日差しを和らげる。	10%
	無理のない範囲でエアコンを消し、扇風機を使用する。	50%
冷蔵庫	設定温度を「強」から「中」に変え、扉を開ける時間をできるだけ減らし、食品を詰め込みすぎないようにする。（食品の傷みにご注意ください。）	2%
照明	日中は不要な照明を消す。	5%
テレビ	省エネモードに設定する。 画面の輝度を下げ、必要な時以外は消す。	2%
温水洗浄便座	温水のオフ機能、タイマー節電機能を利用する。	いずれかで 1%未満
	上記の機能がない場合、 使わない時はコンセントからプラグを抜く。	
ジャー炊飯器	早朝にタイマー機能で1日分まとめて炊いて、 冷蔵庫や冷凍庫に保存する。	2%
待機電力	リモコンの電源ではなく、本体の主電源を切る。長時間使わ ない機器はコンセントからプラグを抜く。	2%

○ その他にも、消費電力が大きい電気製品は、特に日中（13時～16時）を避けて使用していただくなど、ご協力をお願いいたします。

アイロン

電気ポット

電子レンジ

ホット
プレート

ドライヤー

トースター

IHクッキング
ヒーター

食器洗い機

浴室乾燥機

掃除機
乾燥機

○ 詳しくは、ホームページへ。

節電.go.jp

検索

<http://setsuden.go.jp/>

特に電力が不足している場合のお願い

「でんき予報」を参考にして頂き、黄・赤になった場合は、一層の節電のご協力をお願いいたします。



安定した
需給状況



やや厳しい
需給状況



厳しい
需給状況



非常に厳しい
需給状況

(関西電力の「でんき予報」の例)

気温の急激な上昇や、発電所のトラブル停止などにより、需給ひっ迫が想定される場合には、停電等を回避するため、政府より、予め「電力需給ひっ迫警報」を発令し、緊急の節電をお願いさせて頂く場合があります。



非常に厳しい
需給状況

急激な気温の上昇や、発電所のトラブル停止による、著しい電力の不足

前日夕方～

- ・需給ひっ迫警報の発令
- ・TV、ラジオ、新聞、町内放送、ホームページ、
予め登録頂いたメールの宛先等により
企業、家庭に継続的にお知らせ。

当日朝～

- ・需給ひっ迫警報の発令
- ・TV、ラジオ、新聞、町内放送、ホームページ、
予め登録頂いたメールの宛先等により
企業、家庭に継続的にお知らせ。

3～4
時間前

- ・「緊急速報メール」で携帯電話に一斉にお知らせ。
(一定の予備率が確保された場合には配信しない)

※状況に応じて運用の変更があり得ます。

需給のひっ迫による停電等を回避

節電にご協力頂くに当たってのお願い

■ 熱中症にご注意下さい

適切な室温管理や水分補給に留意頂く等、十分にご注意ください。
特に、ご高齢の方や体調に不安のある方はお気をつけください。
(熱中症に関する情報 http://www.env.go.jp/chemi/heat_stroke/index.html)

■ 高齢者の方々、障害のあるの方々、被災された地域の方々など、それぞれのご事情のもと、無理のない範囲でご協力をお願いいたします。